

平成30年度 自己評価・学校関係者評価 報告書 (教務部)

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号

105

自己評価

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・夢の実現に向け自ら学び考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。</li> <li>・心のふれ合いを大切にし、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。</li> </ul>
--------	---

評価する領域・分野	「各学部の教育課程」「情報化推進」
現状及びアンケートの結果分析等	「特色ある教育活動の展開」76%は、昨年度よりも7%上がってはいるものの、まだ低い状況である。また、「学校活動の自己評価を保護者(地域)へわかりやすく伝えている」75%は、昨年度よりも3%下がっている。これらの項目の評価が低いことに関しては、広報活動の低さが課題と考える。また、「施設設備は、学習環境の面で満足」68%(H30のみの項目)は、現在改修工事に伴う臨時的教室配置に起因するところもあると考える。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領に則した指導の充実と評価のあり方を推進する。</li> <li>・児童生徒が生き生きと活動できる学習活動を計画的に推進する。</li> </ul>
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務主任、部教務の連携強化</li> <li>・教務主任を接点とした各学部、分掌との連携強化</li> </ul>
目標の達成に必要な具体的取組	・教務部業務を「教務」「庶務」「情報」に編成し、それぞれの係に職員の特性を生かした担当を学部毎に配置した。
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の目的・内容を踏まえている教育活動が構成されているか。</li> <li>・児童生徒の障害の特性を見定めているか。</li> </ul>
取組状況・実践内容等	<p>教務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個別の指導計画等の活用を推進する。</li> <li>・各学部・分掌と協力して日程や時間調整を進め、行事等がスムーズに行えるよう調整した。</li> </ul> <p>庶務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・改修工事による臨時教室や特別教室等の使用がスムーズに行えるように調整を図った。</li> </ul> <p>情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバーの維持管理や学校ホームページ管理をし、教育活動やその広報活動が効果的に行われるよう努めた。</li> </ul>

評価の視点	評価
① 業務の効率化が推進されたか。	A (B) C D
② 学習指導要領に即して個別の指導計画や年間計画等が効果的に活用できたか。	A (B) C D
③ 各学部の児童生徒の実態に即した教育課程の編成を心掛けたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
<p>○各学部の独自性を出しながらも、各学部間の情報交換を深め、共通理解の推進を図ることができた。</p> <p>○本校教育課程について、新学習指導要領の目的や内容を踏まえた見直しの必要性がある状況を検討し、改善を進めている。</p> <p>○▲改修工事に伴い、中・高等部が年度途中で教室を移動し合級せざる得ない状況もあったが、臨時や新たな教室で教育活動ができるよう引き続き調整を図る必要がある。</p> <p>▲教育活動の広報として役割が大きい学校ホームページを、効果的かつ能率的に活かすことができるよう、発信かつ活用しやすい校内体系の見直しが必要である。</p>	A (B) C D

<p>来年度に向けての改善方策案</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北館3階の改修工事のため、引き続き年度当初は臨時教室となるが、5月からの正式教室配置に向けて調整を図る。</li> <li>・新学習指導要領(小学部―'18・19 先行実施、'20～全面実施、中学部―'18・19・20 先行実施、'18・19・20 先行実施、'21～全面実施、高等部―'19・20・21 先行実施、'22 年次進行で実施)の学習及び本校児童生徒の実態と照らし合わせながら、各学部の児童生徒の実態に即した教育課程の編成を図る。</li> <li>・本校の教育課程をもとに、給食時間や下校時間等、日課の見直しを具体的に検討する。</li> <li>・個人懇談の回数を4回→3回(高2は4回)や時間を全般的に調整していくが、通知表との共通化を図った個別の指導計画を用いることで、計画的な学習活動を効率的に保護者に分かりやすく説明し、引き続きご理解とご協力を得る。</li> <li>・地域の方や保護者に学校活動を広くPRしていくため、ホームページの刷新や担当者の育成を図る。</li> <li>・各職員のパソコンにおけるインフォメーション等の有効活用により、情報共有や会議縮小等、業務効率化に向けての情報化推進を図る。</li> </ul>
----------------------	--

**学校関係者評価** (平成31年2月7日実施)

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己評価の中に、働き方改革として懇談時間の見直しや留守電を設置したとあったが、勤務状況は良くなってきているのか。地域の小中学校へ行くことがあったが、先生方に余裕がない。余裕がないと気づきができない。先生方に余裕が見られるようになるとよいと思っている。</li> </ul>
---